

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

令和2年4月1日

宮城県

この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

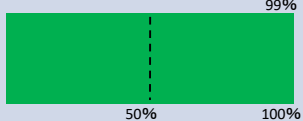
インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

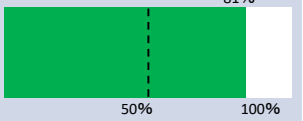
項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
道路・橋梁施設 (復旧工事)		着手 100%
		着手箇所数: 123か所 (H31/3未完了)
被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 12か所		完成 約93%
		完成箇所数: 115か所 (R2/3未現在)

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
河川施設 (復旧工事)		着手 100%
		着手箇所数: 21か所 (H27/3未完了)
被災箇所数: 21か所		完成 約33%
		完成箇所数: 7か所 (R2/3未現在)
海岸保全施設 (復旧工事)		着手 100%
		着手箇所数: 32か所 (H30/12未完了)
被災箇所数: 32か所		完成 約72%
		完成箇所数: 23か所 (R1/12未現在)
港湾施設 (復旧工事)		着手 100%
		着手箇所数: 11か所 (H27/12未完了)
被災箇所数: 11か所		完成 100%
		完成箇所数: 11か所 (R2/3完了)

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況
被災商工業者の 営業状況		約99%
商工会議所・商工 会の被災会員数: 1,331会員(H23/3) うち廃業除く:914会員		営業継続会員数: 912会員 うち仮復旧中:167会員 (約18%) (H31/3末現在)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数		約81%
H22年 362万人		H30年 294万人 (H30年観光統計概要)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率(原数値)

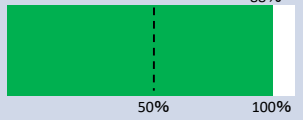
	県全体	気仙沼
H23年4月	0.39	0.19
R2年3月	1.35	1.45

雇用情勢(R2年3月)【資料出典:ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1, 162人
 【震災直前(H23.2): 1, 778人】
 【ピーク時(H23.6): 6, 325人】
 ※有効求職者:震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績:841社, 2,814人(延べ数・申請ベース)(H30年7月末)

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等 グループ補助金 による支援状況		約88%
交付決定1,052事業 者(H31/3/31) ※当初交付決定-廃止		完了 930事業者 (H31/3/31)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む)		着手 100%
復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H27 380ha H24 30ha H28 70ha H25 340ha H29 38ha H26 140ha H30 12ha		完成 100%
	着手面積: 約1,130ha(R1/9完了)	完成面積: 約1,130ha(R1/9完了)
農地海岸		着手 100%
対象箇所数: 19箇所		完成 100%
	着手箇所数: 19か所 (H30/3完了)	完成箇所数: 19か所(H30/3完了)
項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス室・ ハウス復旧面積)		100%
被害面積11.3haのうち 復旧対象面積:約8ha		復旧面積:8ha

林業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸)		着手 100%
被災箇所数:9か所		完成 約89%
	着手箇所数: 9か所 (H29/12完了)	完成箇所数: 8か所(R2/4未現在)
林道施設		着手 100%
被災箇所数:9か所		完成 100%
	着手箇所数: 9か所 (H27/3未完了)	完成箇所数: 9か所(H29/3未完了)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場 の製品出荷額		約120%
H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止	地域内主要工場 製材工場 : 3社	R元製品出荷額: 約3.6億円
		主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 561か所 ※被災漁港数60港の内、 60漁港に着手。 ※ 箇所数は県管理漁港と市町管理漁港の合計値		着手 約96% 着手箇所数: 540か所 (R1/12末現在) 完成 約86% 完成箇所数: 480か所 (R1/12末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁船隻 数: 約3,600隻 (H23/3/11) ※漁船原簿により集計		稼働隻数: 4,116隻 (R1/12末)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)		R1の水揚金額: 約169億円 (約7.2万ト) (H31/1～R1/12)
主要魚市場 気仙沼, 南三陸		

復興に向けた管内の動き

戸倉カキ部会が天皇杯を受賞

令和元年11月14日に明治神宮会館において開催された、令和元年度農林水産祭において、「宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所カキ部会(以下「戸倉カキ部会」)」が最高の栄誉である天皇杯を水産部門において受賞しました。

戸倉カキ部会の皆さんは、東日本大震災を契機に、過密養殖からの脱却を図るため、養殖施設の間隔を広くし、施設数を1/3まで削減することで、「養殖期間の大幅な短縮や品質の向上」、「1経営体当たりの年間の生産量や生産金額の向上」、「都市部に移住した子弟のUターン(後継者の確保)」などの成果に繋がっています。また、養殖業の国際的エコラベルであるASC認証を日本で初めて取得し、環境に配慮した持続可能なカキ養殖業の姿を明確に示すなど、これからの他地域のモデルとなる取り組みとして高い評価を頂き、今回の天皇杯受賞となりました。さらに、令和2年1月24日に皇居において天皇皇后両陛下に拝謁し業績説明を行いました。

(気仙沼地方振興事務所水産漁港部)



天皇杯を手にする戸倉カキ部会の皆さん



使用した業務説明パネルと記念撮影

国道45号と国道398号の接続が完了しました。

折立川河川災害復旧事業に伴う国道45号の付け替え、及び国道398号との接続工事が、大規模な盛土工事や、5回の交通切替を経て完了しました。これにより、安全で円滑な交通が確保されるとともに、仮設道路が撤去可能となり、今後の折立川災害復旧事業の進捗が図られます。

(気仙沼土木事務所)



浪板橋から浪板2区防集団地区間の供用を開始しました。

浪板橋から浪板2区防集団地までの区間について、法面の安全対策工事が完了したため、令和元年12月26日から供用を開始しました。この区間については、平成30年に切土法面にひび割れが発生したことから、法面の崩壊を防止する対策工事を実施してきたものです。

(気仙沼土木事務所)



発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail: kstssss@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

